

伊勢湾岸自動車道 刈谷スマート IC の開通

愛知県 刈谷市 建設部 道路建設課

◆ はじめに

刈谷市は、愛知県のほぼ中央に位置し、中部圏の中心都市名古屋の 20km 圏内にあって、市域は南北 13.2km、東西 5.8km と南北に細長く、面積は 50.39km² を有している人口約 15 万 3 千人の都市です。

本市が都市の形態をとり始めたのは、天文 2 年（1533 年）水野忠政が刈谷城を築いてからになります。忠政の娘「於大の方」は、2023 年 NHK 大河ドラマ「どうする家康」の主人公「徳川家康」の生母であります。

明治 21 年（1888 年）に東海道本線が開通し、刈谷駅が設置され、大正 3 年（1914 年）には三河鉄道（現名鉄三河線）が開通するなど、交通の要衝として発展し、地方商業都市としての色合いを強めていきました。

そして、大正末期に、トヨタ系企業の誘致により近代産業都市としての足がかりを得て、積極的な工業化施策を推進してきました。その後、高度経済成長とモータリゼーションの進行が相まって、自動車関連産業の集積地として飛躍的な発展を遂げ、愛知県の経済発展の先駆的役割を果たすとともに、世界をリードする創造的な産業拠点をめざす、愛知県の中核都市として重要な地位を確保しています。

このたび、本市の新たな玄関口として令和 4 年 3 月 26 日に開通しました刈谷スマート IC は、刈谷市の北部にある伊勢湾岸自動車道刈谷パーキングエリア（以下、刈谷 PA）に併設されている刈谷ハイウェイオアシス（以下、刈谷 HWO）にも接続する形で整備しました。

本稿では、施設概要や整備効果などをご紹介します。



刈谷市の位置



東京ディズニーランド、USJ に次いでレジャー施設への年間来客数が全国 3 位にもなったことがある施設（レジャーランド&レクパーク総覧 2014）で、観覧車や天然温泉、産直市場、遊園地などがある。

刈谷ハイウェイオアシス

◆ 刈谷スマート IC の概要

- 事業年度：平成 29 年度～令和 3 年度
- 設置場所：第二東海自動車道横浜名古屋線（伊勢湾岸自動車道）
刈谷 PA（豊田南 IC～豊明 IC 間）
- 接続形式：パーキングエリア接続型
- 利用時間：24 時間利用可能
- 出入方向：全方向利用可能（静岡方面、四日市方面の出入り）
- 対象車種：ETC 車載器を搭載した全車種
（軽自動車等、普通車、中型車、
大型車、特大車）
- 計画交通量：4,900 台／日
- 事業経緯：
 - 平成 17 年：刈谷 PA にスマート IC 社会実験を
要望するも、道路構造や用地等の
課題が多く、社会実験は断念
 - 平成 26 年：伊勢湾岸自動車道の交通量増加や
ETC 利用率の向上により、スマー
ト IC 設置の費用対効果が見込ま
れ、整備計画の検討を開始
 - 平成 27 年 9 月：地区協議会設立準備会の開催
 - 平成 29 年 6 月：地区協議会の設立
 - 平成 29 年 7 月：実施計画書策定、
新規事業化採択
 - 平成 29 年 8 月：国土交通大臣より連結許可
 - 平成 30 年 8 月：工事着手
 - 令和 4 年 3 月：供用開始



位置図



概要図

◆ 工事概要

刈谷スマート IC の整備においては、事業期間短縮を命題に刈谷 HWO 敷地内で行い、新たな道路用地の取得を必要最小限に抑えました。

主な整備内容として、上り線ランプでは、刈谷 HWO の調整池である牛池内に道路を築造しておりますが、県道の向かい側に池の敷地を拡張し、貯水容量を維持したまま牛池の改修工事を実施しました。

また、刈谷 HWO 第 1 駐車場のレイアウトを再編することで、施設の駐車場面積は減少しましたが、駐車台数は減らさない整備を行うとともに、第 1 駐車場から刈谷 PA（上り線）までを接続する市道を跨ぐ橋梁整備を実施しました。

工事中は隣接する商業施設と綿密な調整を行い、施設利用者が混乱しないよう細心の注意を払いながら、事故など無く終えることができました。



刈谷スマート IC 上り線完成写真

また、下り線ランプでは、刈谷 HWO に元々あった公園内道路を活用し、線形や縦断勾配等の改良により、大型車が通行できる規格の道路として整備しました。

この公園内道路は市営バスや商業施設の搬入車両が乗り入れる専用道路であったため、仮設道路を設けて運行経路を確保しながら工事を行いました。

さらには、上下線ランプに接続するアクセス道路として、伊勢湾岸自動車道沿いの市道の改良に加え、県道名古屋岡崎線一部区間の4車線化も併せて行いました。



刈谷スマート IC 下り線完成写真

○年度別の主な整備内容（①上り線ランプ、②下り線ランプ、③アクセス道路他）

平成 30 年度

- ①刈谷 HWO 第 1 駐車場再編工事、仮設駐車場整備工事
- ②刈谷 HWO 公園内道路地盤改良及び擁壁工事
- ③馬池の地盤改良工事

平成 31 年度（令和元年度）

- ①刈谷 HWO 内牛池排水管整備工事、上り線ランプ橋梁下部工事
- ②刈谷 HWO 公園内道路仮設道路及び擁壁工事
- ③馬池の擁壁工事

令和 2 年度

- ①刈谷 HWO 内牛池地盤改良及び擁壁工事、上り線ランプ橋梁下部・上部工事
- ②刈谷 HWO 公園内道路舗装及び調整池整備工事、下り線交差点改良工事
- ③馬池内道路改良工事

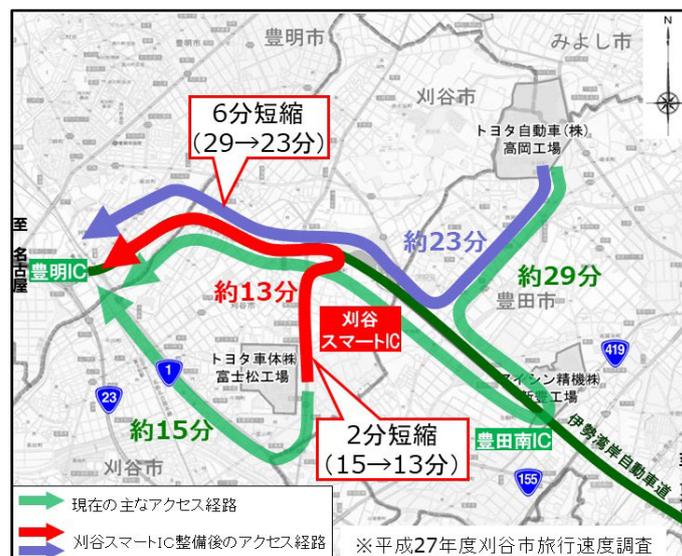
令和 3 年度

- ①上り線ランプ舗装工事、上り交差点改良工事
- ②刈谷 HWO 公園内道路舗装工事、下り交差点改良工事
- ③アクセス道路舗装及び標識設置工事、県道名古屋岡崎線 4 車線化工事

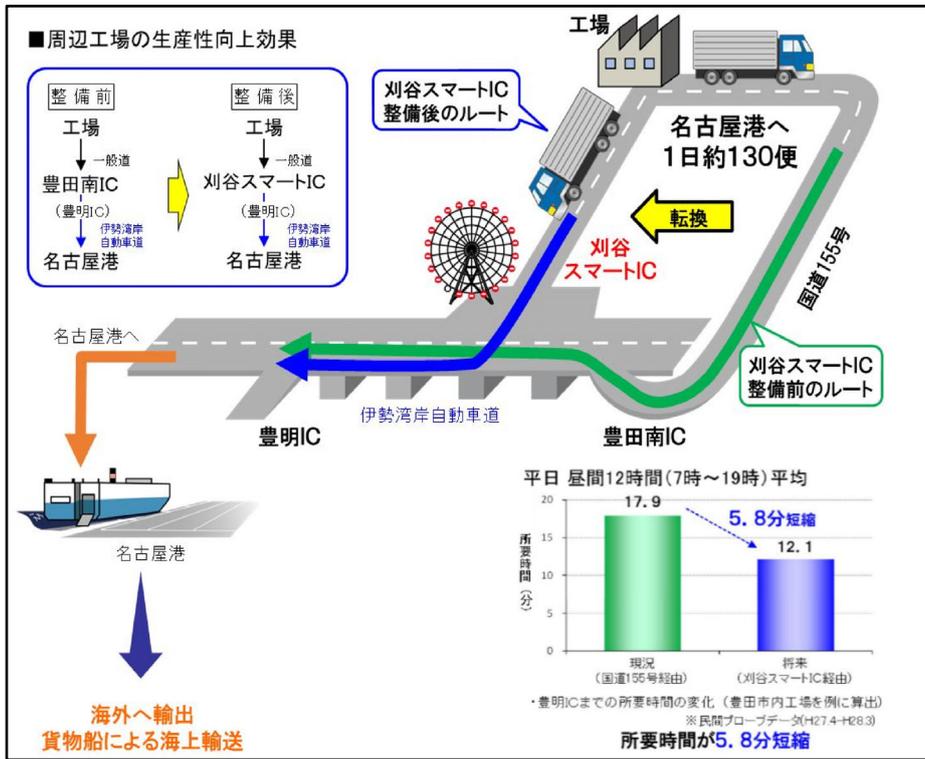
◆ 整備効果

(1) 産業の生産性向上

刈谷スマート IC の整備により、周辺に位置する日本を代表する大規模自動車工場から高速道路へのアクセス時間の短縮が図られ、これら自動車産業の部品供給が効率的となり、生産性の向上に加え、物流コストの削減が期待できます。



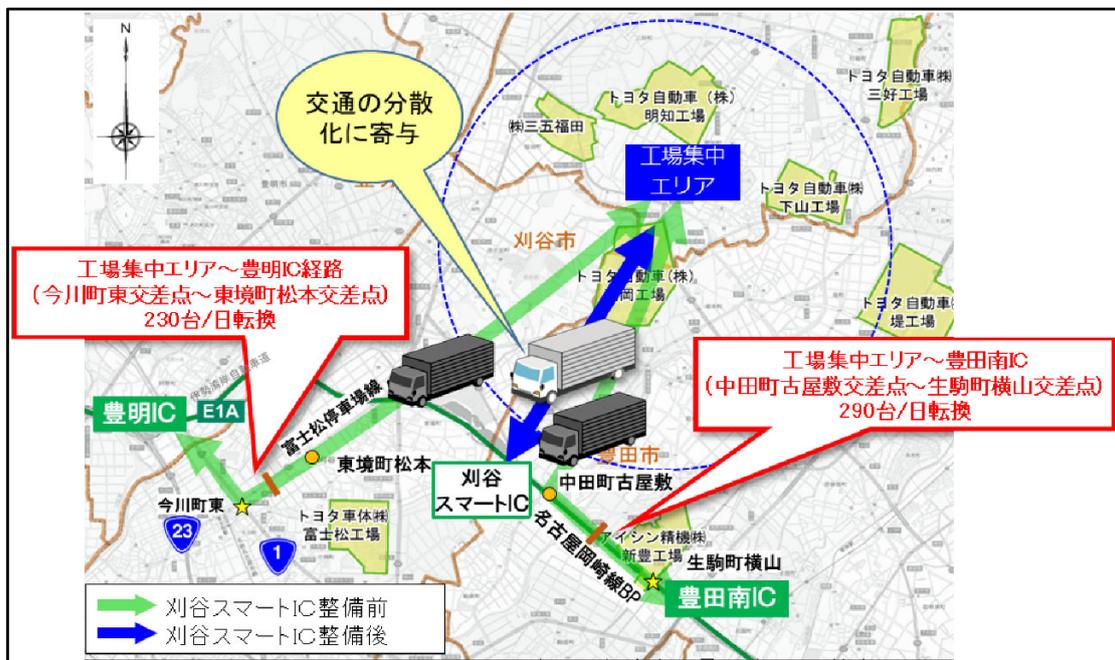
周辺大規模工場から IC への所要時間短縮



周辺工場の生産性向上効果

(2) 交通渋滞の緩和

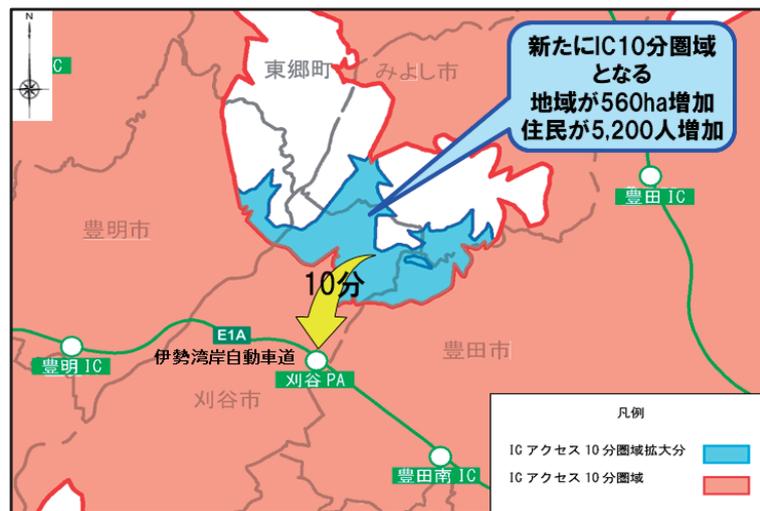
刈谷スマート IC の整備により交通集中エリアから高速道路までの経路の短縮・転換に伴い、交通量の減少や分散化が図られることで、地域全体の交通渋滞の緩和が期待できます。



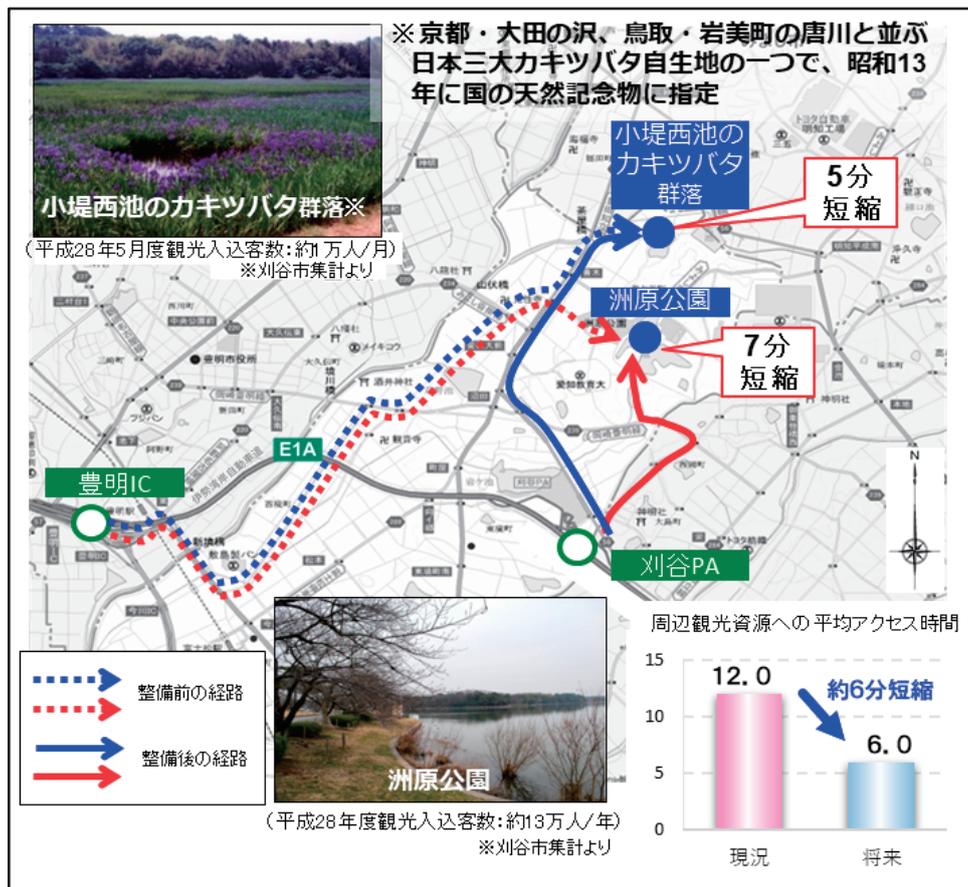
交通の分散化イメージ

(3) 周辺地域の活性化

刈谷スマートICの整備により、高速道路ネットワークへの到達圏域が拡大し周辺地域の利便性が向上します。また、周辺地域の観光資源へのアクセス時間が短縮され、観光振興が期待できます。



ICアクセス10分圏の増加



観光振興への効果

◆ 今後の展望

刈谷スマート IC の開通を契機に、広域交通体系の整備効果により、本市の特色であるものづくり地域の維持発展に努めるとともに、刈谷 HWO を始めとする地域資源を活かした、にぎわいや交流などが生まれる計画的な土地利用を図る必要があります。また、刈谷 HWO におけるさらなる魅力向上や交流拠点としての機能充実、PR 活動の展望を図り、周辺エリアのにぎわいを創出することにより、本市が掲げている「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現を目指していきます。

◆ おわりに

刈谷スマート IC の開通後、事業整備の効果は着実に現れてきているものと考えていますが、今後も、中日本高速道路株式会社や国、愛知県等の関係者の皆様を始め、刈谷ハイウェイオアシス株式会社や地元の方々とともに利用促進に努めてまいります。

結びに、刈谷スマート IC の整備につきましては、国及び愛知県からご助言を頂きながら、関係機関等との調整を行い、中日本高速道路株式会社との緊密な連携により、本事業を無事に完了することができました。この場をお借りしまして、本事業の推進にご協力を頂きました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。